


地理空間情報が拓く未来Ⅳ

―防災GISとハザードマップ―

【開催趣旨】

2011年3月11日の東日本大震災から1年半が経ちました。この間に、国・自治体では津波防災体制の強化に向けて様々な取り組みを行ってきました。2012年3月には新しい地理空間情報活用推進基本計画が閣議決定され、その内容には、東日本大震災の教訓を生かして、高い防災力を持った高度情報活用社会を構築することが述べられております。この新しい基本計画では、地理空間情報の活用の中でハザードマップが重要であり、その作成を促進することが防災力を高める一つの手段となることが明記されています。そこで、今年度は、地震や津波などの災害に関する防災GISの活用とハザードマップ整備に関して、国、道、企業、住民、大学の立場から最新の取り組みに関してお話しします。

2012年  北海道大学
サステナビリティ・ウィーク
10月17日(水) 13:00~16:30

場 所 北海道大学 学術交流会館 大講堂
対 象 学生、市民、自治体職員

【プログラム】

- 13:00~13:05 開会挨拶
- 13:05~13:45 特別講演:「東日本大震災を踏まえた北海道の防災対策」
北海道総務部危機対策局 危機対策課防災グループ
主幹(地震・津波対策) 高見 芳彦
- 13:45~14:15 「ハザードマップづくりのための国土地理院の情報とサービス」
国土地理院 北海道地方測量部 部長 永山 透
- 14:15~14:45 「3.11東日本大震災後のハザードマップ作成と課題」
株式会社シン技術コンサル 常務取締役 志村 一夫
- 14:45~15:15 「地理空間情報を用いた町内会の防災活動」
幌北第3町内会 会長 小川 富之
- 15:15~15:30 最新技術紹介
- 15:30~16:00 「GISを用いた津波ハザードマップ作成のためのプロジェクトマネジメント手法」
小樽商科大学社会情報学科 准教授 深田 秀実
- 16:00~16:30 「津波防災におけるGISの活用」
北海道大学大学院文学研究科 教授 橋本 雄一